

平成27年(2015年)おもなできごと

下伊那地方事務所

平成27年(2015年)の下伊那地方事務所の「おもなできごと」を紹介します。

月	内 容 等	
2月	「特定外来生物 "ウチダザリガニ" 対策・利活用研究会」を開催	(環境課)
	<p>「ウチダザリガニ」の生息域拡大防止策や駆除後の活用策を探るため、漁協、飲食店、行政の関係者約40名出席の下、2月24日に研究会を開催しました。 会議の中では、生態や捕獲方法を確認するとともに、食材として活用した料理の試食を行いました。</p>	
3月	樹齢400年の名木「夫婦桜」の樹勢回復と支柱更新作業を実施	(地域政策課)
	<p>近年、飯田合同庁舎敷地内にある「夫婦桜」の樹勢の衰えが見られたことから、3月14日から27日にかけて、根接ぎと土壌改良を実施するとともに、枝を支えている支柱の更新を行いました。今回の樹勢回復作業により、夫婦桜が末永く美しい花を咲かせてくれることが期待されます。</p>	
4月	飯田市民の旅券申請受付・交付事務を市役所へ権限移譲	(地域政策課)
	<p>県で行っていた飯田市民の旅券業務を同市へ権限移譲し、4月1日に県下初となる市町村の旅券窓口が開設されました。 これにより、飯田市民は申請に必要な戸籍等の交付場所と同じ市役所で、旅券申請を行うことができるようになりました。</p>	
5月	「長野県議会議員一般選挙」が執行される	(地域政策課)
	<p>任期満了に伴う「長野県議会議員一般選挙」が4月12日に執行され、投票率が飯田市50.01%、下伊那郡55.22%と、いずれも前回(平成23年)の選挙を下回る結果となりました。 投票率の低下が課題とされる中、高森町では、県下初となる期日前投票全期間を通じた商業施設への期日前投票所が設置されました。</p>	
6月	JAみなみ信州が「地理的表示(GI)保護制度」に「市田柿」を登録申請	(農政課)
	<p>高い品質・評価を得ている地域の産品の名称を知的財産として保護する「地理的表示(GI)保護制度」が6月1日に創設されました。 全国の産地に先駆け、同日、JAみなみ信州が「市田柿」を農林水産大臣へ登録申請しました。現在、登録の審査が国で進められています。</p>	
6月	管内の県税収入が、過去6年間で最高額となる"64億円"を計上	(税務課)
	<p>6月25日に発表した、平成26年度の管内の県税収入は、過去6年間で最高額の64億15万円となり、前年度より6.4%、金額で3億8千万円余増加しました。企業業績の回復基調により、法人二税が前年度より28.6%増加したことが大きな要因となりました。 また、収入歩合が98.2%と過去10年間で最高、収入未済額が1億1,256万円と過去10年間で最少となりました。</p>	

月	内 容 等	
7月	<p>「南信州民俗芸能継承推進協議会」が設立される (地域政策課)</p> <p>県が、今年度から当地域で展開している「地域で守る伝統行事(芸能)継承モデル構築事業」を推進するため、7月1日に「南信州民俗芸能継承推進協議会」が設立されました。当所においても、協議会の活動を支援し、地域を挙げた継承意識の醸成と担い手の確保・育成策を推進していきます。</p>	
8月	<p>阿智村の幹線用水路「恩田井水」の隧道工事が完了 (農地整備課)</p> <p>隧道の老朽化により通水に支障を来していた「恩田井水」は、平成21年度から「県営農村地域防災減災事業」により工事を進めてきました。今年度に入り、扇ヶ平(おうぎがひら)隧道が8月4日に完成したことにより、当事業の主要工事である5本の隧道工事が完了し、阿智村伍和地区の農業用水の安定供給が図られるようになりました。</p>	
8月	<p>「住民の支え合いによる防災力向上のための意見交換会」を開催 (地域政策課)</p> <p>住民の支え合いによる地域防災力の向上を図るため、8月24日に市町村や関係機関、地域防災関係者出席の下、初めての意見交換会を開催しました。昨年の「長野県神城断層地震」における地域住民の支え合いの状況等を参考に、当地域の現状と課題について、活発な意見交換と対策の検討が行われました。</p>	
9月	<p>横浜ゴム株式会社長野工場と豊丘村が「森林(もり)の里親契約」を調印 (林務課)</p> <p>企業と地域が連携して森林づくりを行う「森林(もり)の里親促進事業」により、横浜ゴム(株)長野工場と豊丘村が、9月7日に契約調印式を行いました。契約期間は3年で、村有林3.4haが対象となります。なお、平成15年度の事業開始から、下伊那地域11件目の契約となります。</p>	
10月	<p>飯田警察署管内に「交通死亡事故多発警報」を発令 (地域政策課)</p> <p>飯田警察署管内において、9月末に交通死亡事故が2件続けて発生し、死者数が昨年を上回ったことから、県交通安全運動推進下伊那地方部は、10月15日から10月28日までの14日間、「交通死亡事故多発警報」を発令しました。その後、4件の交通死亡事故が発生し、同署管内の死者数は、昨年を上回る10名となっています。(12月23日現在)</p>	
11・12月	<p>"選挙権年齢の引下げ"を前に、高校等で「選挙出前授業」を実施 (地域政策課)</p> <p>来年6月から選挙権年齢が18歳以上へ引下げられることから、高校生に政治や選挙に関心を持っていただくため、11月27日・30日、12月4日の計3回、阿南高校と飯田養護学校で選挙出前授業を実施しました。生徒からは、講義や模擬投票を通じて、有権者となる意識が高まり、「ぜひ投票に行きたい」との声が聞かれました。</p>	
通年	<p>「創りたい 新たな時代 伝えよう 支えあう力 生き続ける文化」をスローガンに各種施策を展開 (全課)</p> <p>「しあわせ信州創造プラン」における、飯伊地域の標記スローガンに基づき、各種施策の展開を図りました。「新しい時代を見据えた地域づくりプロジェクト」では、リニア中央新幹線開業に向けた地域づくりや伝統芸能の継承、市町村における総合戦略策定等地域の特色を活かして活力を生み出す取組を支援しました。「未来を拓く産業プロジェクト」では、市田柿のブランド化推進や南信州うまいもの商談会の開催等により、地域特産物の競争力向上や販路拡大等の取組を推進しました。</p>	

◆◇「オール信州」宣言◆◇
 私たちは「長野県人口定着・
 確かな暮らし実現総合戦略」の
 実現に取り組んでいます。

下伊那地方事務所 地域政策課 総務係
 (課長)今井 達哉 (係長)高野 雅彦 (担当)菊池 寛
 TEL:0265-53-0400 FAX:0265-53-0404 E-mail shimochi-seisaku@pref.nagano.lg.jp